

# 丸山盛三 メモリアルガラコンサート

十三回忌を期して

丸山盛三のDNAを受け継ぐ  
オーボエ奏者たちが  
ここに集結

Performers  
(出演予定)

池田肇

東京交響楽団首席

岩崎弘昌

札幌交響楽団首席

篠崎隆

東京交響楽団

小林牧

九州交響楽団

富田和子

元神奈川フィルハーモニー管弦楽団

前川光世

元東京佼成ウインドオーケストラ

姫野徹

ニューフィルハーモニーオーケストラ千葉

広田智之

東京都交響楽団首席、上野学園大学特任教授

名雪あかね

フリーランス

杉本真木

東京フィルハーモニー交響楽団

三原隆正

上野学園大学講師

宮城完爾

札幌交響楽団

加瀬孝宏

東京フィルハーモニー交響楽団首席

他国立音楽大学卒業生有志

2013年 8月25日(日) 開場13:30 開演14:00

上野学園 石橋メモリアルホール

全自由席 一般¥3,500 学生¥2,500

## Program

林 光：オーボエソナタ“Blue Rockthrush”、Johann Wenzel Kalliwoda：サロンのための小品 Op.228、Pavel Haas：オーボエとピアノのための組曲 Op.17、Eugène Joseph Bozza：プロバンスの羊飼いたち、Jan Dismas Zelenka：トリオソナタ No.3 変ロ長調 より、Ludwig van Beethoven：トリオ Op.87 ハ長調 より、Georg Friedrich Händel：王宮の花火の音楽 より 他

主催 国立音楽大学オーボエ専攻丸山門下卒業生有志一同

協賛 (株)サト・テクノ・ミュージック、(株)ドルチェ楽器、日本ダブルリード(株)、野中貿易(株)、(株)ピュッフェ・グループ・ジャパン、(株)ヤマハミュージックジャパン

特別協力 上野学園 石橋メモリアルホール

チケット取扱 (株)ドルチェ楽器 管楽器アヴェニュー東京 (03-5909-1771)

日本ダブルリード (株) (03-3346-1761)

ノナカ・ダブルリードギャラリー (03-5458-1541)

(株)ピュッフェ・グループ・ジャパン (03-5632-5511)

お問い合わせ 野中貿易 (株) 担当・藤原 045-680-5156 (直)



## 丸山 盛三 (まるやま せいぞう、1932-2001)

昭和7年、京都生まれ。高校卒業後間もなく単身上京し、東京交響楽団研究生を経て正団員となる。昭和33年にはNHK交響楽団に入団し、昭和55年まで首席奏者を務めた。その間、斉藤秀雄、シュヒター、ルンブフ、ワルベルク、エッサー各氏の指揮の下、東京交響楽団、NHK交響楽団の定期演奏会においてソリストとして共演。NHKのラジオリサイタル、FMリサイタル、タペのリサイタルの他、テレビ等でもソロ・室内楽奏者としても活躍した。

昭和38年に渡独し、ベルリン国立音楽大学にてベルリン・フィル首席オーボエ奏者のカール・シュタインズ教授に師事したが、このときに学んだ本格的なジャーマンスタイルの奏法は、帰国後の日本のオーボエ界に大きな影響を与え、その

発展に寄与した功績は多大なものがある。

国立音楽大学においては昭和41年より講師として、また昭和63年にN響を定年退職後は教授として教鞭を執り、札幌、群馬、N響、東響、都響、東フィル、ニューフィル千葉、神奈川フィル、大阪フィル、広響、九響、東京佼成ウインドオーケストラ、シエナ・ウインド・オーケストラ、グラーツ歌劇場、ブラウンシュヴァイク歌劇場、コト布斯歌劇場、武漢フィルなど、国内外で活躍する多くのプロオーボエ奏者を育成した。また国内の主要なオーボエのコンクールでは審査員を歴任。海外ではオーボエで最も権威のあるコンクールの一つであるミュンヘン国際音楽コンクールにおいて、2度にわたり審査員を務めた。これはオーボエ奏者として丸山盛三が国際的にも高い評価を受けていたことを示している。

国立音楽大学で丸山盛三先生にオーボエを師事していたクラスの学生たちが、自主的に「発表会」をやるうではないか、ということになったのが、「Once more Concert」の始まりで、1980年頃のことでした。普通の、気むずかしい「発表会」のように、全員がピアノ伴奏でお仕着せの練習曲ばかりを次々に演奏するのではなく、パロックでも、アンサンブルでも、無伴奏でも、編曲でも軽音楽でも、自由に企画して自分たちも、聴きに来る方にも楽しんで頂けたらいいじゃないか、という考えが、とってクニタチらしかったと思います。

あるとき食堂からレッスン室に帰る時に（ぼくはいつも丸山先生のお昼ご飯のときに、一緒に座っている係でした。）「先生は、リサイタルはなさらないのですか？」と聞いたことがあるのですが、「だって君、オーボエばかり2時間も聞かなくて、そんな耐えられないじゃないか？」と大まじめに答えられたことがありました。オーボエはオーケストラの中でソロを吹く時に一番映える楽器で、とても目立つ。それゆえに、味が濃い。表現が強い。そればかりを長い時間をずっと聞く、演奏するのは無理があるじゃないか？と続けて話して下さいました。それはまさにオーボエという楽器の本質で、その言葉は、ぼくの中にずっとそのまま残っています。

それなのに発表会をやりたいと学生が言い出したことを快く受け止めて下さって、丸山先生は事前のレッスンから、当日のゲネプロ、本番に至るまで、ずっと通して聴いて下さっていました。「ご、御退屈では・・・？」と恐る恐る尋ねると、「ああもう、緊張するよ。自分で吹いたほうがよっぽどいいわ！」と冗談半分に言っておられました。

その先生が他界されてもう12年という年月が経ってしまいました。告別式でかかっていたのは、そんな先生にふさわしく、N響での様々なシンフォニーにおける先生の艶やかで真心のこもった、美しいソロの数々でした。

怖くて優しかった、いつでも凄かった丸山先生を偲び、門下生たちがまたしても「発表会」に集まろうとしています。「耐えられない」ことにならないよう、各自はこれまた、今の自分なりの企画・選曲で、自分の時間を準備しています。

なにかを強制的に押し付けたりすることのなかった先生の、しかし全学生の音楽魂の一番奥に植え付けて下さった貴重な教えは、「自由に選んで自由に吹く」門下生たちの演奏会から、はっきりと聞こえてくるに違いありません。

NHK交響楽団首席オーボエ奏者 **茂木 大輔**

若い時からオーケストラプレーヤーに憧れ、夢を叶える為に真面目に努力された丸山盛三さん、N響の団員になられた後も、常にベストな状態で本番に臨まれていらした姿勢が印象的です。40数年前大阪フェスティバルホールの舞台裏で、G.P.開始前リードの調整に集中されていた丸山さんが、それまで舞台上で鳴っていた音がぱっと鳴り止んだので、突然猛スピードで走り出し舞台袖に向かわれた。当日1曲目が出番でなかった丸山さんは、G.P.開始前に行われるインスペクターからの伝達事項を聞き漏らすまいと、舞台下手に立ってじっと耳を凝らしておられた姿が、今でも忘れられません。

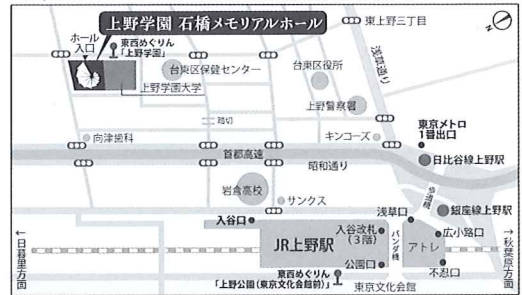
N響定期公演のG.P.が始まる11時から演奏会終了までの間、丸山さんは演奏に支障が出ないようにと食事を取らずに本番に臨まれていたことも、心に強く残っています。

いつも艶のある音色と、独特な柔らかなビブラートでN響のサウンドを作ってきた演奏と、オーケストラプレーヤーとしてのプロ魂を沢山教えて頂いた事に感謝しています。

元NHK交響楽団首席ファゴット奏者・武蔵野音楽大学教授

**岡崎 耕治**

## ISHIBASHI MEMORIAL HALL



〒110-8642 東京都台東区東上野4-24-12 学校法人上野学園内

電車・地下鉄 JR各線「上野駅」入谷改札より入谷口から 徒歩8分

東京メトロ・日比谷線/銀座線「上野駅」1番出口より徒歩8分

バス 台東区循環バス(東西めぐりん(浅草方面))「上野駅・上野公園(東京文化会館前)」より乗車、「上野学園」にて降車、徒歩0分、行きのみ。(めぐりん:所要時間10分、15分間隔で運行)

※駐車場はございません。お越しの際は、公共の交通機関をご利用ください。



LIMITED EDITION OBOES

*H-Limited*

-BLACK OPAL- NEW

革新を刻んできた H-Limited が、さらなる熟成を遂げた。

Yamaha collaborated with TOMOYUKI HIROTA

〈セミ・オートマティック〉

**YOB-831HG** -BLACK OPAL-  
¥1,354,500(税込)

〈フル・オートマティック〉

**YOB-832HG** -BLACK OPAL-  
¥1,459,500(税込)

●ヤマハ管楽器ホームページ <http://jp.yamaha.com/winds/>

●お問い合わせ 【株式会社ヤマハミュージックジャパン 楽器営業本部】〒108-8568 東京都港区高輪 2-17-11 TEL.03-5488-1684

または、【お客様コミュニケーションセンター管弦打楽器ご相談窓口】ナビダイヤル: 0570-013-808 ※つながらない場合は 053-411-4744 へおかけください。

営業時間: 月~金 10:00~18:00 / 土 10:00~17:00(日曜・祝日・センター指定休日を除く)

株式会社ヤマハミュージックジャパン